

## 2025 文化祭ふり返りアンケート

発表グループ

発表グループ来館者数 14日(金)7人 15日(土)7人 16日(日)7人

### 良かったこと

14日(金)

- 小ホールでの前日のリハーサルの希望は、事前に発表グループで希望をとつて、その時間を公民館のホールスタッフに伝えた。そのため、以前あったような、あてもなくホールスタッフを待たすことはなかった。

15日(土)、16日(日)

- 今年は来場者数が多く、発表内容も良かった。
- 当日のリハーサル室の使用は要望が多かったので実現できて良かった。
- 今年は、発表団体の紹介に「めくり」を使ったが、各団体の評判もよくうまくいったと思う。
- 今年は、小ホールにパーテイションがあり、上演中の扉の開け閉めに支障はなかった。
- 入り口に入ってすぐの所に発表グループ員がいたので、椅子の用意、途中退場のお客様の対応ができた。

### 不都合であったこと

14日(金)

- 準備物など、前年度からの物で、そのまま使えるものもあるので、申し送りがあれば良かった。

15日(土)

- 発表プログラムに個別の開始時間を書いてほしかった。プログラムを渡すとき、時間がわからないという意見が多くあった。
- お客様が思いのほか多く椅子が足りなかつた。どこから出すのか知つておけばよかつた。
- スタッフ動員が本部からと発表グループからと2種類あつたので、どちらの受付に行けばよいか結構聞いてこられ、ややこしいという声が多かつた。
- 上演中の観客の出入りが多く、対応におわれた。

16日(日)

- 舞台発表中に次の団体が誤ってAドアから中に入ってしまうというトラブルがあり、発表中の団体にご迷惑をかけてしまった。
- 発表の時間が予定よりかなり短い団体があり、次の団体の発表まで、お客様を待たせてしまうことがあつた。
- スタッフの名簿のチェックは発表グループ員が受付にいなくても、各自がやればよいと思った。

### 改善案

- 予備の椅子は予め用意しておく必要がある。
- 扉係は、外だけでなく内にも必要。それと会場全体を見る人もいる。
- 意向調査票に、発表団体が必ず守ることとして、申告した持ち時間は守る(時間を越えたり、短かったりしない)など明記してもらう。
- グループ員が、自宅のパソコンを使って文書を作成し印刷することがあつたが、その場合の経費の請求がしにくい。そこで、文化祭委員会全体として、活動開始前に、自宅での印刷は、「白黒1枚〇円」「色刷り1枚〇円」などの基準が決まつていると、事後の請求がしやすい。